

実践経営学会会報

ご挨拶

実践経営学会 会長
板倉 宏 昭



この度、歴史ある実践経営学会の会長に就任しましたことを大変光栄に思っております。

実践経営学会は1967年の創設以来、理論と実践の調和を重視し、学界のみならず官界、実業界からも幅広い分野の研究者が集い、絶えず新たな研究領域に挑戦してまいりましたが、コロナ禍という前代未聞の危機に見舞われ、政府による緊急事態宣言の下、対面での全国大会や、常任理事会、理事会などの開催を見合わせざるを得ないという状況に陥りました。しかし学会は前任者である夏目重美会長のリーダーシップのもと、困難な状況下にありながらも、リモートによる全国大会開催や、学会誌、会報の発行など、歩みを止めることなく発展を続け、昨年は八戸学院大学にて、3年ぶりに対面にて全国大会を開催し、盛況にて開催することができました。夏目会長のご尽力には感謝の念に堪えません。夏目会長をはじめとする先陣の築かれた学会の発展に向けて、引き続き努力してまいります。

実践経営学会は、会員の皆様のご協力や熱意があつてこそ成り立っています。皆様と共に、より良い学会づくりを進め、発展を続けてまいりたいと考えております。私自身も、学会の皆様と共に、より良い学びや交流を目指し、努めてまいります。

また、昨年度学会誌「実践経営」はEBSCO Hostの収録対象となりました。EBSCO Hostは、膨大な数の学術論文や専門書、雑誌などをデータベース化しており、研究者や学生にとっては非常に重要なリソースとなっています。海外からのアクセスが可能になるため、「実践経営」の価値が高まることが期待されます。このことが学会の更なる発展につながることを願っています。

本年の全国大会は大阪で開催されます。東京圏に先んじて商都として発展し、日本経済をけん引してきた大阪ですが、2025年の大阪万博に向けて更なる活気を見せています。もちろん魅力的な観光都市でもあります。ぜひ、大阪に集い、有意義な研究情報の交換をいたしましょう。

最後に、就任にあたり、皆様から多大なるご支援とご協力を賜りましたことを心より感謝申し上げます。引き続き、学会の発展に向けて皆様と共に歩んでまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

ご挨拶

第66回全国大会実行委員長
武居 奈緒子 (摂南大学)



第66回実践経営学会全国大会は、2023年9月1日(金)から9月3日(日)にかけて、摂南大学寝屋川キャンパス(大阪府寝屋川市)で開催します。

統一論題のテーマは、大阪経済大学の井形浩治先生(本学会全国大会実行副委員長兼事務局長、同学会元会長、同学会常任理事)の御発案により、「大阪・関西経済の競争力」となっております。「The大阪」、「大阪らしさ」を全面的に打ち出すべく、現在企画中です。

今回の全国大会は、板倉宏昭新会長のもと、新しい執行部で皆様をお迎え致します。是非、御予定いただき、また自由論題につきましても、多数の御報告をお待ち申し上げます。

統一論題:

「大阪・関西経済の競争力」

解題

由緒ある実践経営学会の第66回全国大会は、統一論題「大阪経済の競争力」で開催する運びとなった。大阪では、2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)が催されることに伴い、それに向けて、最新鋭のテクノロジー・ITが導入されたり、さまざまな分野におけるパビリオンの出展が決まったり、PRイベントが実施されたりと、準備が進められている。アジア太平洋研究所の試算によれば、2兆5,276億円、拡張万博となれば2兆9,182億円という巨額な経済効果が見込まれている(アジア太平洋研究所編『アジア太平洋と関西—関西経済白書2022—』日経印刷、2022年、p.184、p.186)。2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)は、インバウンドの呼び込みのみならず、海外への販路開拓といった商談が成立する場でもあることから、大阪経済の競争力をより一層強化する絶好の機会となっている。

大阪は、産業革命が起こる以前から、世界的にみても先進的地域であった。中世には、堺が貿易港として繁栄し、世界の中で中心的な役割を果たしていた。江戸時代になると、大坂は天下の台所と称され、大坂商人が活躍し、経済は活況を呈していた。また、大坂が菱垣廻船・樽廻船の起点となり、全国的な物資の移動を可能にしたことは、海運業の発展をもたらした。

戦後においては、大手家電メーカーに代表されるように、大阪本社の企業がグローバルに活躍している。東大阪では、産業集積地が形成されていて、生産面でのイノベーションが、日々起こされている。食文化については、たこ焼き、お好み焼きといった粉もん文化が定着して、人々に食の楽しさを提供している。大阪発の笑いの文化の形成は、話に「おち」が取り入れられ、関西独自のエンターテインメントとなっている。近隣の京都をみると、文化庁の移転に伴い、経済・文化・芸術といった分野における大阪とのシナジー効果が期待されている。

これらを踏まえ、統一論題「大阪経済の競争力」で基調講演・パネルディスカッションを行い、大阪経済のさらなる発展と、グローバルな競争力の獲得を含めた今後の可能性について議論する。

【プログラムの概要】 詳細につきましては、7月初旬の会報にて御案内させていただきます。

- | | | | |
|---------|--|---------|--------------------|
| 9月1日(金) | 午後:Excursion(学外研修ツアー)
夕刻:常任理事会、理事会 | 9月3日(日) | 午前:自由論題
午後:会員総会 |
| 9月2日(土) | 午前:自由論題
午後:開会式
統一論題シンポジウム
夕刻:研究・情報交換会 | | |

会場アクセス
摂南大学寝屋川キャンパス



寝屋川キャンパス

●京阪寝屋川市駅より

🚲 自転車・・・約15分

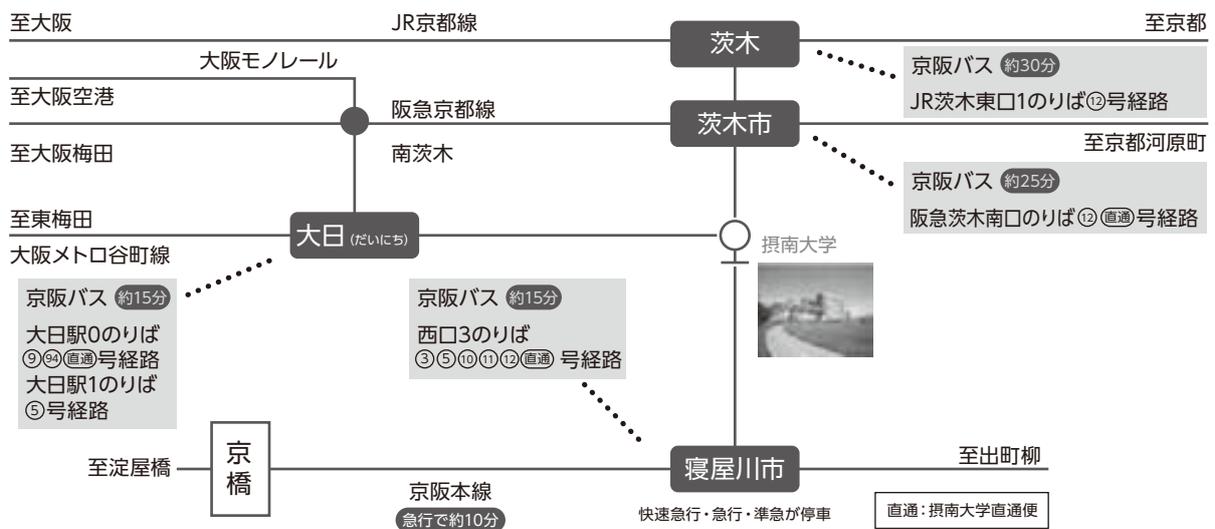
🚌 バス・・・約15分

●JR茨木駅・阪急茨木市駅より

🚌 バス・・・約30分

●大阪メトロ・モノレール大日駅より

🚌 バス・・・約15分



- 京阪本線「寝屋川市」駅(南出口)から京阪バスに乗りし「摂南大学」下車
- 大阪メトロ谷町・大阪モノレール「大日」駅から京阪バスに乗りし「摂南大学」下車
- JR京都線「茨木」・阪急京都線「茨木市」駅から京阪バスに乗りし「摂南大学」下車

【ホテルの御案内】

開催校は、京阪沿線にございます。そのため、宿泊につきましては、大阪、京都等が便利であると存じますが、ご自由にご予約ください。割引等はございません。

第66回全国大会回全国大会 自由論題報告者の募集について

第66回全国大会における自由論題報告者を下記の要領で募集いたします。多くの会員の皆様のご応募をお待ちしております。

1. 応募資格

- (1) 会員であること(非会員との共同報告は認められておりませんので、応募に際しては入会手続きをお願いいたします)。
- (2) 2022年度までの年度会費に未納がないこと(共同報告者も同じ)。
- (3) 2023年度会費が、報告論文の提出期限2023年7月3日(月)までに納入されていること(共同報告者も同じ)。

2. 応募方法

下記の項目を明記の上、下記の「実行委員会アドレス」へお申し込みください。メールの件名は「JSAM第66回大会自由論題報告応募」としてください。共同報告の場合は、共同報告者の(1)、(2)、および主たる報告者の(5)についても明記してください。なお、報告日時のご希望はお受けできません。

- (1) 氏名(ふりがな)
- (2) 所属機関名・肩書(大学院生の場合は「課程」を明記)
- (3) 報告テーマ
- (4) 報告論文の概要(400字程度、英文の場合、200ワード)およびキーワード(3~4語)
- (5) 連絡先(メールアドレス、郵便番号、住所、電話・FAX番号)

※Eメールを日常使用されない方は、期限までに大会実行委員会あてに郵送でご応募ください。

※自由論題報告は、9/2(土)午前、および9/3(日)午前を予定しています。

3. 応募期限

2023年6月8日(木) 17:00必着

※これを受けて、常任理事会へのプログラム案の策定、その他の事務手続きに入りますので、期限厳守をお願いいたします。

4. 報告論文の提出期限 2023年7月3日(月) 厳守

提出期限までに報告論文が届かない場合には、『実践経営学研究』への掲載ができなくなるとともに、大会プログラムに報告予定が記載されていても、大会当日の報告は認められないことになっております。

加えて、次年度における全国大会での報告についても制約を受けることになっておりますのでご注意ください。

5. 報告論文の提出

本学会の全国大会におきましては、慣例として、いわゆる「大会予稿集」「レジュメ集」などは作成しておりません。代わりにフルペーパーの公式論文集『実践経営学研究』を編集・刊行し、大会当日に配布することになっております。そのため、報告者は、作成した報告論文を、「実行委員会アドレス」まで、メール添付にてお送りください。メールの件名(表題)は「JSAM第66回大会報告論文送付」としてください。

また、編集作業の都合上、報告論文はWordによる作成をお願いいたします。

学会HPよりWordファイルの雛形をダウンロードしてご使用ください。

(メールアドレス jsam66.ronbun@gmail.com)

校正の機会は設けておりません。

6. 報告論文の執筆要領

- (1) A4版横書き(1ページは40字×40行)(英文20ワード×40行)で8～10ページ(図表、注釈、参考文献等を含む)。
- (2) 1ページ目は、まず、下記の項目を明記し、□(罫線)で囲む(1行に入らない場合は、ポイントを下げ調整する)。

①論題名(メインタイトル)

和文14ポイント(明朝)、英文半角10.5ポイント(Century)

②副題(サブタイトル)

和文12ポイント(明朝)、英文半角10ポイント(Century)

③所属・氏名

和文11ポイント(明朝)、英文半角10.5ポイント(Century)

(例)

<p>～のマネジメントに関する事例研究</p> <p>A Case Study of Management of～</p> <p>近畿大学経済学部□□□□□田中□敬一</p> <p>Kindai University□□□□Keiichi Tanaka</p>
--

(英文の場合は日本語は不要です)

- (3) 最終ページの36行目以降は余白とする。
- (4) 本文構成は、「はじめに」(Introduction)、「章・節(1.、2.・・・)」(Chapter1,2・・・)、「項((1),(2)・・・)」(Section(1),(2)・・・)等とする。
- (5) 本文中に、目次、構成等の表示はしない。
- (6) 本文は10.5ポイント(明朝)(10.5point, Century)とし、引用部分の表示、図・表の出展表示、文末注釈については10ポイント(明朝)(10point, Century)とする。
- (7) 表のタイトルは「表1 …」(Table1)とし、当該表の上部に表記する。
- (8) 図のタイトルは「図1 …」(Fig.1)とし、当該図の下部に表記する。

※[6. 報告論文の執筆要領]に関するお問い合わせは、本部事務局(jsam.headoffice@gmail.com)までお願いします

7. Cancellation Policy

大会での報告機会を確保したにもかかわらず、大会当日・当時刻に、相当の理由なく欠席されますと、次年度における全国大会での報告ができなくなります。欠席せざるを得ない事情が発生しましたら、できる限りすみやかに実行委員会までご連絡ください。

8. その他

何かご不明な点がありましたら、「実行委員会アドレス」、もしくは本部事務局(jsam.headoffice@gmail.com)までお問い合わせください。

第66回全国大会実行委員長	武居奈緒子	(摂南大学)
大会実行委員会事務局長	井形浩治	(大阪経済大学)
実行委員	田村正文	(八戸学院大学)
	吉野忠男	(大阪経済大学)
	松井温文	(追手門学院大学)

実行委員会 E-mail : jsam66.ronbun@gmail.com

入・退会者のお知らせ(2022.10.1～)

入会者	ご所属	担当支部	承認日
桑畑 夏生	宮崎大学	九州	2022年10月31日
桂 信太郎	高知工科大学	中国・四国	2023年4月10日
柿沢 庸太	MR. SQUARE	関東	2023年4月17日

実践経営学会事務局からのご連絡

■住所・勤務先などの変更届のお願い

住所や勤務先、メールアドレス等が変更となった会員の方は、
jsam.headoffice2@gmail.com（本部事務局会員情報管理専用メールアドレス）までご連絡ください。

■会費納入のお願い

会費納入の通知をお届けしますので、よろしくお願ひします。学会活動は会員の会費によって支えられております。全国大会および各地域支部会における報告資格は「年会費を納入済みの会員」となっております。ご留意ください。

会員情報などのお問い合わせ・ご連絡先は、jsam.headoffice2@gmail.comまで

■学会ホームページにて最新情報を掲載しております

実践経営学会ホームページ（<http://www.jsam.org/>）では最新情報を随時掲載しております。各支部からの情報やその他のお知らせを掲載しておりますので、ホームページをご活用ください。また、ご登録いただくことにより、ニュースをメールで受け取ることができますので是非ご利用ください。

実践経営学会

JAPAN SOCIETY FOR APPLIED MANAGEMENT

発行日：2023年5月15日

発行所：実践経営学会

発行者：会長 板倉 宏昭

[本部・本部事務局] 〒140-0011 東京都品川区東大井1-10-40 東京都立産業技術大学院大学 板倉宏昭研究室内

制作：(株) マインド